

ライトレース競技説明

ライトレース^{きょうぎ}競技は、ロボカップジュニア^{きょうぎ}競技ではありません。

千葉ノード・オリジナル^{きょうぎ}の競技で、初心者^{しょしんしゃ}・入門者^{にゅうもんしゃ}向けです。

[1]参加資格^{さんかしかく}

- 小学生から高校1年生まで。
- 線^{せん}にそってロボットを動か^{うご}そうとすることが目標^{もくひょう}になるロボット入門者^{にゅうもんしゃ}。
- 1人でもいいですし2人以上^{いじょう}で1チーム^{さんか}での参加もできます。
- 千葉ノード大会^{ほか}の他の競技^{きょうぎ}に参加^{さんか}しない人。
- ロボットやパソコンなど必要^{ひつよう}なものを用意^{ようい}できるチーム。

[2]参加費^{さんかひ}

- 1チーム1,000円です。

[3]ロボット

- 25cm×25cm^{せいほうけい}の正方形^{はい}に入る^{おお}大きさであること。
- プログラムを入^{にゅうりよく}力するタイプのロボットでなければいけません。
- 市販^{しはん}キットのロボットやライトレース専用^{せんよう}ロボットで参加^{さんか}できます。

[4]コース

- 白しろのプラスチック段だんボールに黒くろのビニールテープで線せんを引ひきます。
- 線せんが交まじわることはありません。となりの線せんとは 15cm以上、離はなれています。
- まっすぐな線せんとなめらかなカーブだけです。

[5]計測・判定

- 審判しんぱんがストップウォッチで時間じかんを計はかります。
- スタートからゴールまでの時間じかんを計はかります。
- ロボットのすべてが線せんから外はずれたらコースアウトです。
- コースアウトしたときは、すぐばしょにコースアウトした場所すこの少し先さきに、選手せんしゅが自分じぶんでロボットおを置かきます。コースアウトした回数かいすうだけ、20秒びょうを記録時間きろくじかんに加くわえます。

[6]競技の回数

- 3回、時間じかんを計はかります。

[7]表彰

- 完走者全員かんそうしゃに時間じかんを記録きろくした表彰状ひょうしょうじょうをわたします。